

## 「不当解雇を許さず加藤誠二さんと共に闘う9・27集会」開催

# 新たな闘いのスタート

### デッチ上げ「蒲郡駅事件」から3年

9月27日、名古屋 金山アビタンにおいて「不当解雇から3年！不当弾圧を許さず、加藤誠二さんと共に闘う9・27集会」を開催しました。集会には150名が結集し、これまでの闘いを振り返りさらに反弹圧の闘いを進めることを確認しました。



### 私たちは労働組合の良心にかけて闘ってきた

集会に先駆け3年間の取り組みを振り返ったスライドが紹介されました。暑い日も寒い日も、また雨の日も雪の日も傍聴券を求め裁判所の前に長蛇の列をつくる組合員に仲間を守る姿が映し出されました。主催者を代表して山田委員長が「警察 JR 東海会社が作ったシナリオにもとづくデッチ上げ事件だ。私たちは労働者の良心にかけて闘い抜いてきた。」と挨拶を行いました。続いて来賓として淵上本部委員長、細川貨物労組東海地本書記長、原 OB 会長、「共に闘う会」川島事務局長、豊橋運輸区分会仲田分会長より力強い挨拶をうけました。各地本の代表者からも決意が述べられまた度重なる弾圧に抗して闘い続ける東海労初代委員長佐藤政雄さんは「現実を見る場合、感性を入れて見なければいけない。その感性を磨いて下さい」と語られました。

### 会社は労働組合を弱体化を図り、

### 警察は市民の味方ためにあるでなく権力を守る

そして挨拶にたった加藤誠二さんはこれまでの闘いに振り返って、「組織破壊をもくろむ会社、警察と真っ正面から闘ってきた。そして東海労組織をぶっ潰す策動を粉砕してきた」と熱く語られました。

闘いは最高裁の上告棄却で残念ながら刑は確定されました。しかし加藤さんはこのような弾圧を受けても闘いの先頭に立って奮闘しています。東海労は弾圧前より組織は強化され、たしろ選に勝利しました。このような成果を確認し集会を終えました。

**反弹圧の闘いを更に強化しよう**